

仙台市太白山自然観察の森 情報誌 2025年1月号

森のおくりもの 1

NO.400

The Gift from Woods



あけましておめでとうございます。太白山自然観察の森が開園して34年目の新年を迎えました。そして、情報誌「森のおくりもの」は400号の発行となりました～素晴らしいです。これからも、情報誌を皆様へお届けできるよう努めてまいります。本年も引き続きご利用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

【館長：佐藤由美】

『脱皮して以て大蛇となる』

今年の十二支の巳に当てはめられた動物のへびに因んだ言葉を探したところ、ほとんどがネガティブなものばかりで、新年にふさわしいものをみつけるのに苦労しました。

へびは、気持ち悪い、毒がある、咬まれる、邪悪など、見た目やイメージから印象が悪いのですが、古くからへびの容姿や習性に対して神秘的なものを感じ、万物に神が宿ると信仰する文化もあって、畏敬の念を抱いていました。穀物を食い荒らすネズミを食べるので、財産が守られることから、有益な生き物として大切にされていました。龍と同一視され、蛇行する川の流れや姿から水の神を司り、神格化されています。へびには金運や財運の他、長いのと結べるからか、子孫繁栄や縁結び、絆などにご利益があり、実は神聖な縁起のいい生き物です。しめ縄は、へびの交尾から考えられた造形だということです。

へびは、脱皮を繰り返して成長します。脱皮は、成長・変化・新生・再生・復活・好転などの象徴です。『脱皮して以て大蛇となる』という言葉がありました。「成長するためには、過去の自分を脱ぎ捨てて、新たな自分になることが大切という教え」です。蛇が皮を脱ぐように、新しい自分に生まれ変わることを意味しています。へびの抜け殻をお守りにする風習がありますが、みつけたら金運などと合わせて様々なご利益が期待できます。

6月30日に「夏越の祓」の神事の中で行われる茅の輪くぐりという儀式があります。チガヤやわらなどを束ねて大きな輪にしたものを鳥居などに立て掛けてくぐり、心身を清めて災いを避け、無病息災や厄除け、家内安全を願います。この行事の由来には諸説あり、神話からきているのが有力のようですが、へびの脱皮にあやかるものなのではという説がありました。確かに、茅の輪くぐりの作法には、へびが体をこすりつけて皮を脱ごうとしている動作を連想させます。時期もへびの脱皮時期と重なっていることも興味深いです。

嫌われがちなへびですが、今年にご利益にあやかるため縁起物として注目されることでしょう。只今へびは冬眠中ですので、自然観察の森でのへびとの遭遇を楽しみにして春までお待ちください。 【レンジャー：新田隆一】



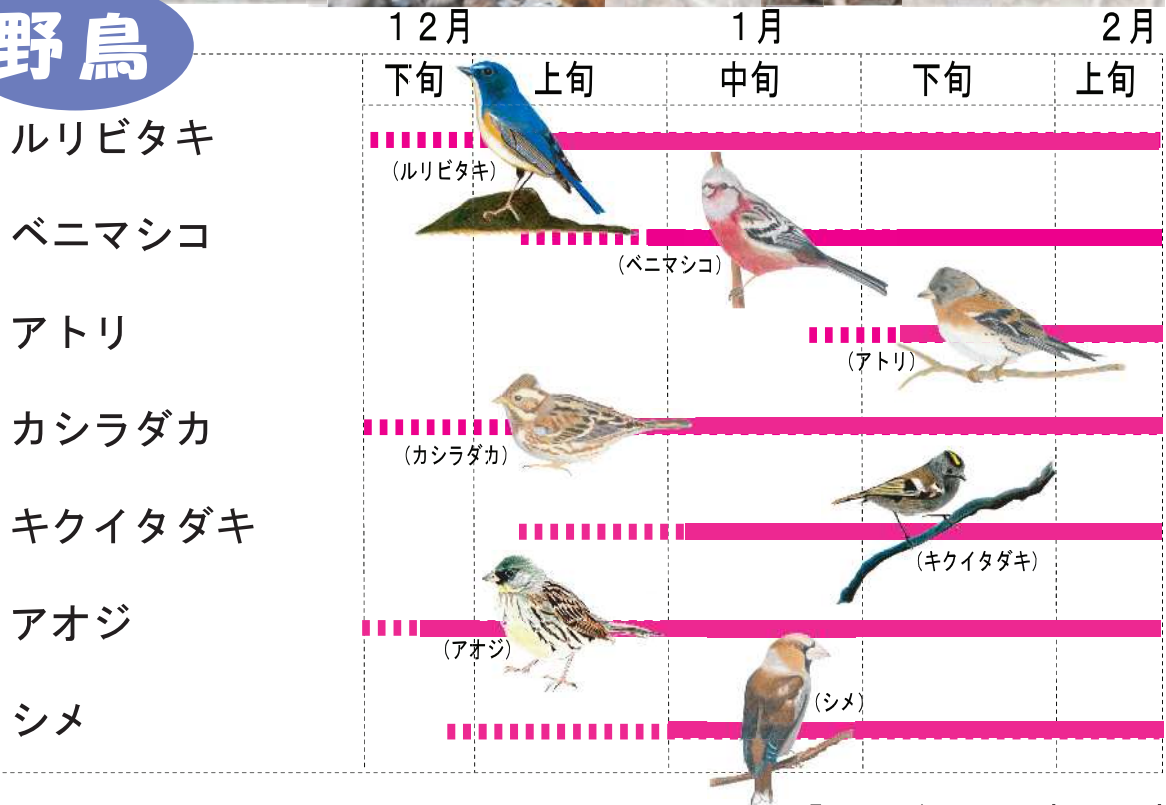
野鳥のレストラン開催中です

12月初めから3月末までセンター裏庭にバードテーブル(野鳥のレストラン)を設置しています。しかし今年はレストランへの来店数が少なく、たくさんのエサを用意しているのですがあまり減りません。森にたくさん食べるものがあるのか原因はわかりませんが、森を歩いていても野鳥自体が少ない気がします。もうしばらく様子を見たいと思います。野鳥のレストランは研修室からゆっくりと観察できますので是非お越しください。

バードテーブルの様子



野鳥



【レンジャー：齋 正宏】

森の「あれこれ」



「力をあわせて」



上の写真に小鳥の群れがいます、何羽か見つけましたか？

いろいろな種類の鳥が群れをつくることを“混群”といいます。観察の森では主にシジュウカラやヤマガラ、エナガ、コゲラなどが混群をつくり、食べ物が少ない寒さも厳しい冬を乗り越えます。

観察の森より標高の高い場所、例えば泉ヶ岳のふもとではヒガラやコガラ、ゴジュウカラが増えます。まれに観察の森でも観察されますよ。



ところでモズやルリビタキなど単独で越冬する野鳥がいる一方で混群になるメリットって何でしょうか。

一つは敵を見つけやすくなることです。群れで警戒する目が多くなるほど、誰かが捕食者に気づきいち早く危険を察知できます。

二つ目は食べ物を効率よく探せることです。木の実や草の種など食べきれないほどまとまってある食べ物は多数で探して分けた方が効率が良いのでしょうか。また種によって食べるものやエサの採り方が違うのでエサのとり合いも少ないのかもしれませんが、もっと言えばエサを探すのが下手な個体がエサ探しの上手な個体をまねる学習効果もあります。

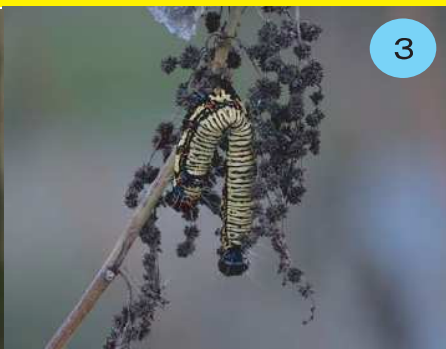
もちろん群れが大きくなりすぎると捕食者に見つかりやすいかもかもしれませんし見つけたエサを分け合うのに不都合な場合があるかもしれません。なので最適な数の群れになるよう“混群”を維持しているようです。にぎやかな小鳥の集団が近づいてきたらそっと観察してみましょう。

【レンジャー：木田秀幸】

森は生きている



① きれいな小さな虫が寄り添っています、ヤマギシモリノキモグリバエといい集団で越冬するそうです。② 野鳥の「モズのはやにえ」樹木の棘に獲物を刺して、冬の保存食にするという説もあります。③ 枯れた葉にしがみついて、力尽きたフクラスズメの幼虫 ④ 枝から茶色いティアドロップのようなものが、ぶら下がっています、クモの仲間の卵囊のようです。



今年の冬は日によって温度差があるように感じます、天気予報では平年並だそうですが、日本の年平均気温は長期的には100年あたり1.19℃の割合で上昇しているそうです、特に日本は世界より速いペースで気温が上昇していると知ると、いずれは森の生態や私たちの生活にも、どんな影響が出るのか、少し心配になってきます。 【レンジャー：菅井 潤】

1月のイベント&お知らせ

◆「野鳥のレストラン」開催中!

- ・冬季限定でバードテーブル（野鳥のためのえさ台）を設置しています
開館時間中、研修室の窓から餌を食べる様子をそっと見ることができます
- 【期間】12月1日(日)～3月30日(日) 9:00～16:30



◆「かわいい雪だるまのリースを作ろう」

- ・自然素材で作った雪だるまや木の実などを接着してリースを作ります
- 【日時】1月25日(土) 10:00～11:30
- 【対象】小学生以上 10名
- 【持ち物】特になし
- 【申込み】1月7日(火)午前9時から電話で受付〔先着〕



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

開催日: 5日, 12日, 19日, 26日

開催時間: 10:00～11:30

※12月～3月の冬季は午前みの開催

申し込み不要。時間までにセンター前へお集まり下さい。

1月の休館日

6日(月)、14日(火)、
20日(月)、27日(月)

※月曜日が祝祭日の場合、
翌日以降の平日が休館



宮城交通バスの場合

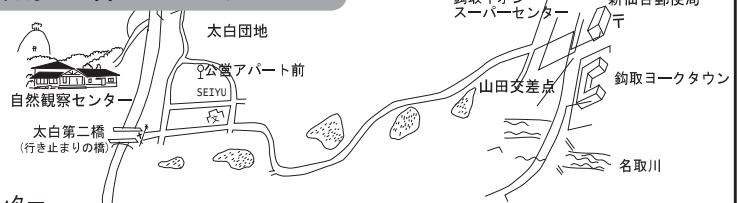
- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘経由山台南ニュータウン行」)
いずれも 公営アパート前 下車→徒歩15分



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

観察の森へのアクセス



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

2025年1月号

発行: (公財)仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「杜のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>